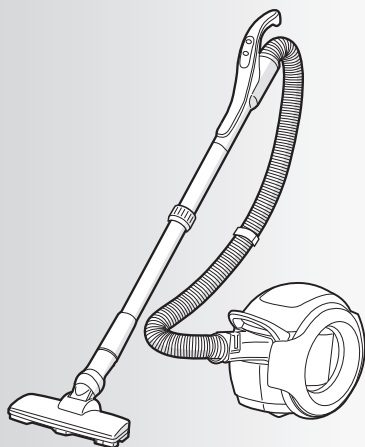


取扱説明書

モデル

CL500D



使用可能バッテリー

- ・ BL1830(容量3.0Ah)
- ・ BL1840(容量4.0Ah)

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書(保証書付)は、いつでも見ることが出来る
所に必ず保存してください。



もくじ

ページ

はじめに	充電に関する安全事項	2
	安全上のご注意	4
	お願い	5
	各部のなまえ	6
	<ul style="list-style-type: none"> ●各部のなまえと組み立てかた ●付属品 ●お知らせランプ ●ホースフックの取り付けかた 	6 6 8 8
使いかた	準備する	9
	<ul style="list-style-type: none"> ●シヨルダベルトの取り付けかた 	9
	掃除する	10
	<ul style="list-style-type: none"> ●お掃除の流れ ●ノズルを使うとき ●サッシ(すきま)ノズルを使うとき 	10 10 11
	ゴミを捨てる	12
お手入れ・収納	お手入れする	14
	<ul style="list-style-type: none"> ●ダストカップセット ●ノズル ●本体・サッシ(すきま)ノズル 	16 16 16
	収納する	17
	その他	18
	<ul style="list-style-type: none"> ●こんなときは? ●別販売品のご紹介 ●仕様 ●マキタ保証書 	18 20

裏表紙

裏表紙

充電に関する安全事項

警告

a) 電気に関する安全事項

- 充電器の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、電源プラグをアダプタプラグなどで接続しないでください。
 - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
- 充電機器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したりしないでください。
 - 充電機器内部に水が入り、感電する恐れがあります。
- 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、絡まって感電する恐れがあります。
- 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - 屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

b) 電動機器の使用とお手入れ

- 充電機器の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

c) 充電機器の使用とお手入れ

- 強/標準スイッチを押したままバッテリーを差し込まないようにしてください。
 - 強/標準スイッチを押したままバッテリーを差し込むと事故につながります。
- バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
- マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー(分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む)を使用しないでください。
 - 本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
- バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
- 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で充分洗い医師の治療を受けてください。
 - バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

d) 整備

- 充電機器は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本体、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

e) その他の安全事項

- 1 損傷した部品がないか点検してください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - <異常・故障例>
 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。
- 2 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- 3 落したり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
- 4 ご使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 5 ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - 爆発や火災の恐れがあります。
- 6 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがない。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - 縮ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
- 7 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- 8 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
- 9 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- 10 バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 11 バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 12 バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - バッテリーを周囲温度が50℃以上上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- 13 正しく充電してください。
 - 周囲温度が10℃未満、または周囲温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 14 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。
 - 発煙・発火・感電の恐れがあります。
- 15 濡れた手で電源プラグに触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

注 電源が離れていて延長コードが必要なときは、充電器を最高の能力で支障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ(公称断面積)と長さの目安

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの長さの目安
2.0mm ²	30m

安全上のご注意

人への危害、財産への損害を防ぐため、
お守りいただくことを
説明しています。

必ずお守りください



■ 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、
説明しています。

警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。

注意 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。



警告

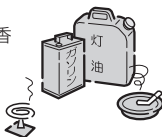
感電・火災・漏電・大けがを防ぐために

使用場所・ご使用時は



- 引火性のあるもののそばで使用しない、
吸わせない

- 灯油・ガソリン・線香
- ベンジン・シンナー
- タバコの吸殻
- トナーなどの可燃物
など
(爆発や火災の原因)



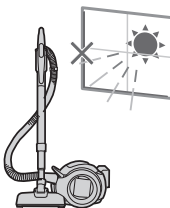
- 風呂場など濡れた場所・濡れるおそれのある場所・高温多湿の場所での使用や、
水の吸い込みは絶対にしてない
(感電やショート・発火の原因)

- 本体に水や洗剤をかけた後、
水洗いしない

(HEPA(ヘパ)クリーンフィルタ・筒型
フィルタ・ダストカップ・フィルタ
カバーは除く)

(感電やショート・発火の原因)

- 火中に投入したり、
加熱しない
また、火やストーブ
のそば、直射日光の
当たる場所、炎天下
の車内など高温の場
所に置かない
(ショート・発火・
液漏れ・爆発の
原因)



ご使用時は



- 本体の改造は絶対にしてない
また、修理技術者以外の人は分解したり
修理をしない
(火災・感電・けがの原因)

修理はお買い上げの販売店、または当社
営業所にお申し付けください。



- お手入れ・点検時には
● 本体は必ず「切」を押し、バッテリー
およびホースを抜く
(感電やけがの原因)

異常・故障時にはただちに使用を中止する



- スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- 運転中ときどき止まる。
- 運転中に異常な音がある。
- 本体が変形したり異常に熱い。
- ホースが破れている。
- こげくさいにおいがする。

- 本体はすぐに「切」を押し、バッテリー
およびホースを抜く。

▶ 「こんなときは？」(18 ページ) をご確認
いただいてから、販売店に点検をご依頼
ください。

お願い

■ お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。



してはいけないこと。



しなければならないこと。



注意

感電・火災・本体の故障・
けがを防ぐために

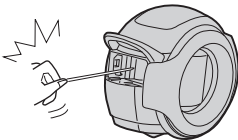
ご使用時は



- 排気口をふさがない
- 吸込口をふさいで長時間運転しない
(過熱による、本体の変形・
発火・火災の原因)



- ホース差込口・ホースの接点・排気口
に、金属類・ピンなどを入れない
(感電や故障の原因)



- ホースを持って本体を持ち上げない
(ホースが抜けて、けがや故障の原因)

こんなことにもご注意を

● 次のようなものは吸わせない

(内部の傷付きやゴミの詰まり・火災やけがや故障の原因)

- セメント粉・トナーなどの固化するもの
- 金属粉・カーボン粉などの導電性の微粉じん
- コンクリート粉などの微粉じん
- 引火性物質 (ガソリン、シンナー、ベンジン、
灯油、塗料など)
- 爆発性物質 (ニトログリセリンなど)
- 発火性物質 (アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、
チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)
- 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削
火花や金属粉など
- 木片、金属、石および釘、ガラス、カミソリ、
押しピンなどの鋭利な物
- 液体や湿ったゴミ
- ひも類
- 大量の砂
- 大きなゴミ・大量のゴミを一度に吸わせる

- 細かい粉類を吸わせた場合は、各フィルタを
お手入れしてください (14～15 ページ)
(石こう・チョークなど)

- ダストカップセット (7 ページ) を、はずした状態で
運転しない

- 土間など土足で歩く場所を掃除しない

- 床面や敷居の段差、家具や壁などに吸込口を強く
当てない
(床面などを傷付ける原因)

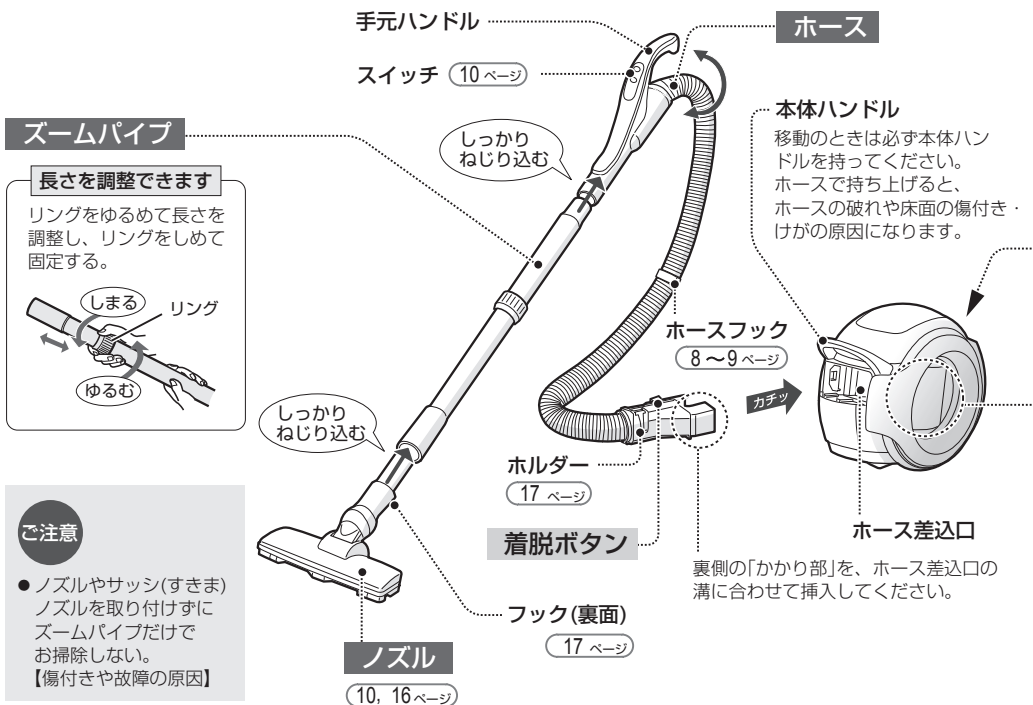
- 運転中、テレビの画面にノイズが発生することが
ありますが、テレビ本体に影響はありません

- この掃除機は家庭用です
ご家庭や事務所などの一般的なお掃除にご使用
ください
お掃除以外に使用しないでください。


各部のなまえ

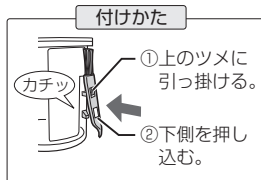
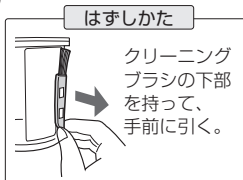
各部のなまえと組み立てかた

- 本体とホースは、**着脱ボタン** を押しながらはずす。
- ズームパイプ・ノズルは、ねじりながら抜く。



付属品

- 上記の  は付属品です。
- **クリーニングブラシ(白) (1個)** (12~15 ページ)
(ダストカップに付いています)



- **ホースフック(1個)**
(梱包時はホースに装着)

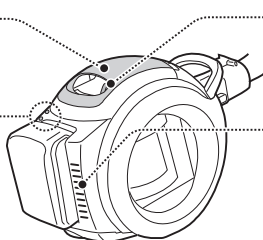


カップ取出しレバー

引き上げるとダストカップセットが
取り出せます。(12ページ)

お知らせランプ (8ページ)

- フィルタお手入れ
- バッテリー切れ



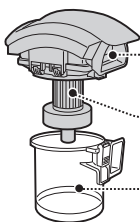
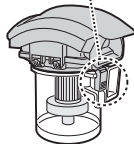
フィルタお手入れレバー

(12, 13ページ)

排気口

フィルタ内蔵。
(お手入れは不要です。
取りはずせません)

ダストカップセット

ゴミ捨てボタン
(黄色)

カバー部

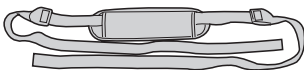
HEPA(ヘパ)クリーン
フィルタ内蔵

筒型フィルタ

ダストカップ
ゴミがたまります。

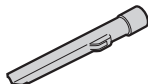
- ゴミ捨てボタン(黄色)を押すと、
ダストカップとカバー部に分かれ
ます。
- お知らせランプ(橙)が速く点滅し
たら、フィルタ類を水洗いして
ください。(14～15ページ)

● ショルダベルト(1個)



付属吸込口 (11, 16 ページ)

- サッシ(すきま)ノズル(1個)



印刷物付属品

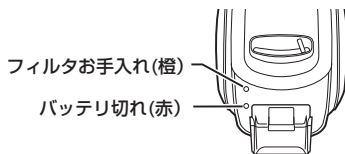
- 取扱説明書(保証書付) (1部)
- 営業所リスト(1部)

各部のなまえ

お知らせランプ (フィルタお手入れ・バッテリー切れ)

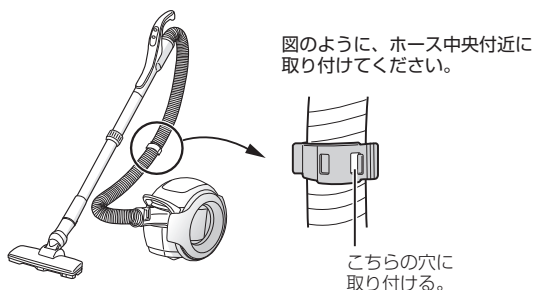
- 本体の状況に応じてランプが光って、お手入れや充電をお知らせします。

ランプの光りかた		説明	参照ページ
フィルタお手入れ	橙	点灯※ フィルタが汚れています。フィルタのつまみでお手入れしてゴミを捨て、クリーニングブラシでフィルタのゴミやほこりを取り除いてください。	12ページ 14ページ
		速く点滅 フィルタにほこりが詰まっています。フィルタをはずして水洗いしてください。	14ページ
バッテリー切れ	赤	点滅 バッテリー残量が少なくなってきました。充電してください。	—
		点灯(10秒) バッテリー残量がなくなりました。充電してください。	—
各種エラー	橙・赤 同時に速く点滅	「こんなときは？」をご確認ください。	18ページ



※ 吸込口がふさがれた場合は(マット掃除時やサッシ(すきま)ノズル使用時など)、フィルタが汚れていなくても点灯することがあります。その場合は、(切)を押してから再度運転すると消えます。

ホースフックの取り付けかた



準備する

ショルダベルトの取り付けかた

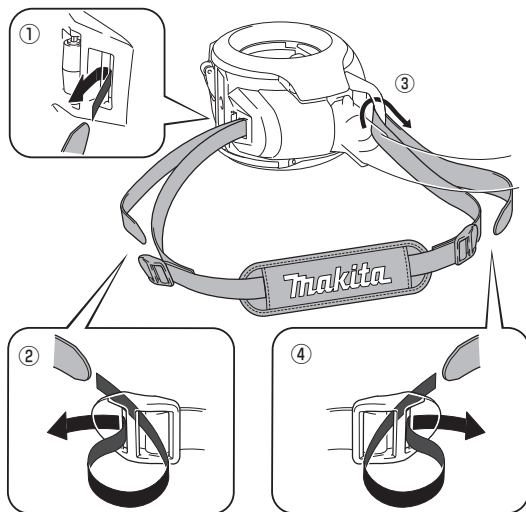
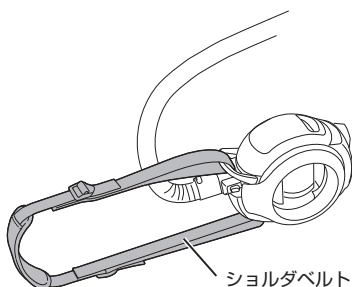
付属のショルダベルトをご使用になると、本体を肩にかけてお掃除できます。

高いところをお掃除するときなどに便利です。

※本体が落下すると、けがや床面の傷付きの原因になりますので、本体ハンドルに手をそえてお使いください。

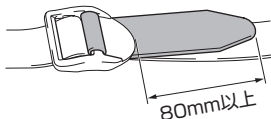


- ショルダベルトの取り付けは、本体や床面に傷が付かないよう、マットなどを敷いておこなってください。



ご注意

- ショルダベルトの端は80mm以上出して固定してください。80mm以下の場合、ベルトがはずれる恐れがあります。



ご注意

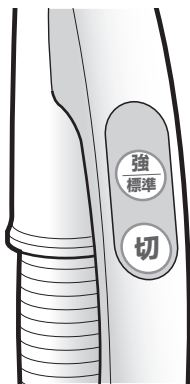
- ショルダベルト取り付け後は、ベルトを引っ張ってしっかり固定されていることを確認してください。【ベルトをしっかり取り付けないと、本体からベルトがはずれ、本体の落下によるけがの原因】

お願い

- ショルダベルトを持って、本体を振り回さないでください。【本体からベルトがはずれ、本体の落下によるけがの原因】
- 本体を肩にかけてお掃除した後、本体を床に置くときは、本体ハンドルを持ってゆっくり置いてください。また、床に置いた本体を、ベルトで引っ張って移動させないでください。【床面の傷付きの原因】
- ショルダベルトを付けた状態で、本体を床で移動させて掃除しないでください。【ベルトの摩耗や床面の傷付きの原因】
- ショルダベルトは、別の用途には使用しないでください。

掃除する

お掃除の流れ



始める



- ▶ 押すと「強モード」で作動します。
押すごとに「強モード」⇄「標準モード」に切り換わります。

強モード：最大の吸込力でお掃除したいとき
標準モード：運転音を抑えたいとき

- 操作が重いつきや、薄いじゅうたん・玄関マットなどが吸い付く場合は、「標準モード」をご使用ください。

終わる

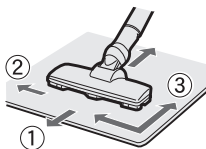


- ▶ お掃除終了

- 衛生面から、お掃除のたびにフィルタをお手入れして、ゴミを捨てることをおすすめします。(12～13ページ)

ノズルを使うとき

- ① まず一定方向に
- ② 次に直角方向に
- ③ 最後に残った隅をお掃除します。



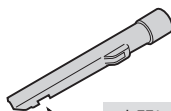
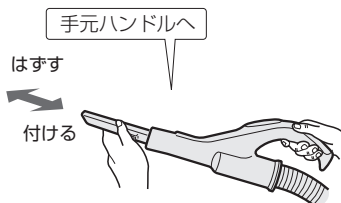
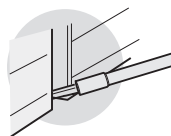
床やたたみは、傷付き防止のため床やたたみの目にそって、軽くすべさせます。

- お掃除のさい、ノズルは床面に強く押し付けず、ゆっくりと軽く前後に動かします。
- ノズルを同じ場所で長く使ったり、強く押し付けないでください。じゅうたんや床・たたみを傷めることがあります。
- ノズルの移動で、新築などのワックスがけされた床の光沢に差ができた場合は絞った布で拭き取り、再度ワックス拭きをして乾燥させてください。

サッシ(すきま)ノズルを使うとき

- 「標準モード」でご使用ください。
- ピアノなど傷付きやすいもののお掃除には使用しない。

家具のすきま・窓のサッシ・
エアコンなどのお掃除に。



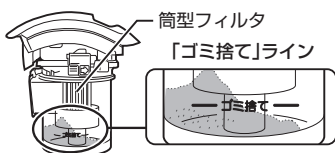
密閉によるモーター過熱を防ぐための穴です。
ふさがらないでください。

ゴミを捨てる

ゴミ捨ての目安

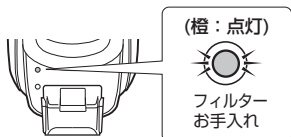
■ゴミが「ゴミ捨て」ラインを超える前に

ダストカップセット



- ゴミが片寄ってたまっている場合も、ラインを超える前に捨ててください。
- 衛生面から、お掃除のたびにゴミを捨てることをおすすめします。

■フィルタお手入れ(橙)が点灯したとき※



- フィルタが汚れています。フィルタのつまみでお手入れしてゴミを捨て(右記)、クリーニングブラシでフィルタのゴミやほこりを取り除いてください。

(14~15ページ)

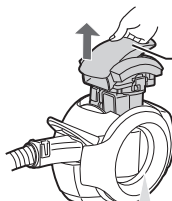
※吸込口がふさがれた場合は(マット掃除時やサッシ(すきま)ノズル使用時など)、フィルタが汚れていなくても、点灯することがあります。その場合は、**切**を押してから再度運転すると消えます。

お願い

- ゴミを捨てずに使用を続けると、筒型フィルタにゴミが付着して吸込力が低下します。必ず捨ててください。
- ゴミ捨て時はほこりがこぼれる場合があるため、新聞紙やゴミ箱などの上でおこなってください。

取り出す

1 ダストカップセットを取り出す



●ロックがはずれ、
ダストカップセット
が引き出せます。

- 本体の吸気バック金は
取りはずせません。

吸気バック金

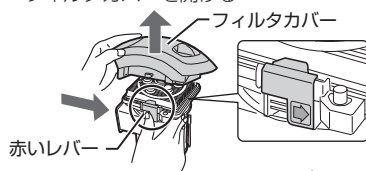
- ダストカップにクリーニング
ブラシ(白)が付いています。
(はずしかた・付けかた (6ページ))



2 フィルタをお手入れする

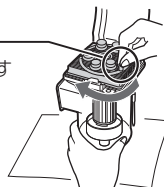
吸込力低下を抑えるために、ゴミ捨てのたびに
フィルタをお手入れしてください。

- ① 赤いレバーを矢印方向に動かして
フィルタカバーを開ける



- ② フィルタのつまみを
持って、10周程度回す

- HEPA(へぱ)クリーン
フィルタのほこりを
ダストカップの底に
落とします。



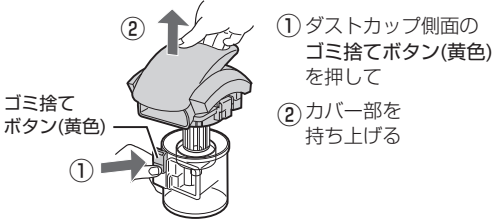
- ③ フィルタカバーを
閉じる



お掃除のたびに、フィルタお手入れレバーで
お手入れをすると、より効果的です。(13ページ)

ゴミを捨てる

1 ダストカップをはずしてゴミを捨てる



- ダストカップの底にゴミが残っていないことをご確認ください。

2 クリーニングブラシでゴミやほこりを取り除く



- ゴミが巻き付いて取れない場合は
- ダストカップセットをお手入れする。

14～15ページ

長く使い続けると

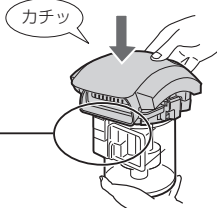
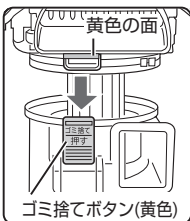


- 内蔵のHEPA(ヘパ)クリーンフィルタにほこりがたまりやすくなります。
- お手入れをしてください。

14～15ページ

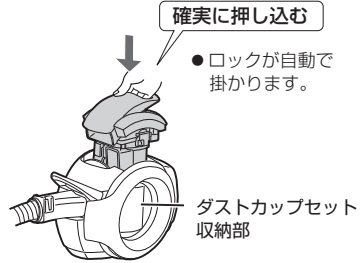
3 ダストカップを取り付ける

- ① 黄色の面とゴミ捨てボタン(黄色)を合わせて
- ② しっかり押し込む



取り付ける

ダストカップセットを本体に取り付ける



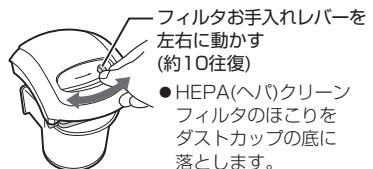
取り付けできない場合は

- ダストカップセット収納部の底のゴミや異物を取り除く。

ご注意

- ダストカップセットを本体に確実に取り付けないと、吸込力が低下したり、異音が生じたり、モーターにゴミが入るなど、故障の原因になります。
- ダストカップセットは組み立ててからでないと、本体に確実に取り付けできません。
- ダストカップセットを本体に取り付けるときは、ダストカップセット収納部に指を入れないでください。【けがの原因】

フィルタお手入れレバーで お手入れする 12ページ



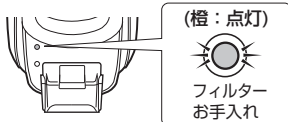
お手入れする

ダストカップセット

お手入れの目安

次のようなときは、クリーニングブラシでフィルタのゴミやほこりを取り除いてください。

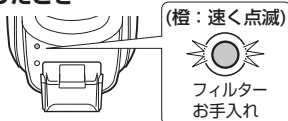
■フィルタお手入れ(橙)が点灯したとき※



- 運転が途中で止まるとき
- 吸込力が弱くなるとき
- 運転音が変化したり、大きくなるとき

次のようなときは、フィルタを水洗いしてください。

★フィルタお手入れ(橙)が速く点滅したとき



- ★細かい粉類を吸わせたとき
- ★フィルタお手入れ(橙)がひんぱんに点灯するとき

※吸込口がふさがれた場合は(マット掃除時やサッシ(すきま)ノズル使用時など)、フィルタが汚れていなくても、点灯することがあります。その場合は、(切)を押してから再度運転すると消えます。

お願い

- お手入れせずに使用を続けると、自動的に運転が止まります。必ずお手入れしてください。
- 新聞紙などを敷いて、お手入れしてください。
- 薬剤・お湯(約40℃以上)などを使用しない。

水洗いした後は

- 水気をしっかり切り、タオルなどで水分をやさしく拭き取って、風通しのよいところで陰干しして充分に乾かす。

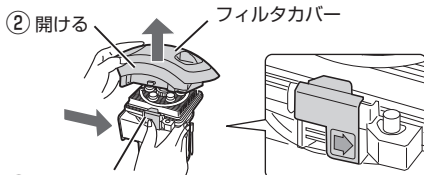
【においの発生や故障の原因】

乾燥時間目安：12時間
(環境や季節によって異なります)

- ドライヤーなどの熱風を当てない。
【変形や故障の原因】

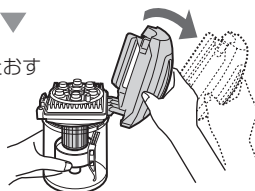
はずす

1 フィルタカバーを開けてははずす



- ① 赤いレバーを矢印方向に動かして

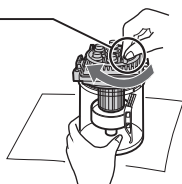
- 矢印の方向へのおすとははずれます。



2 HEPA(へパ)クリーンフィルタをはずす

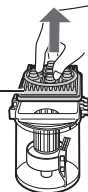
- ① フィルタのつまみを持って、10周程度回す

- HEPA(へパ)クリーンフィルタのほこりをダストカップの底に落とします。

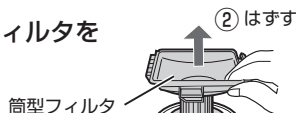


- ② はずす

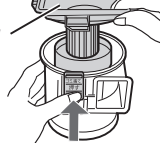
HEPA(へパ)クリーンフィルタ



3 筒型フィルタをはずす



- ① ゴミ捨てボタン(黄色)を押して



警告



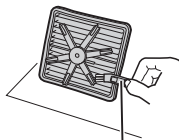
お手入れ時には、本体は必ず
①を押し、バッテリーおよび
ホースを抜く

【感電・けがの原因】

お手入れする

HEPA(ヘパ)クリーンフィルタ

ゴミやほこりを取る。



クリーニングブラシ

- 強くこすらない、指で押さない。先のとがったもの(つまようじなど)は使わない。【破損の原因】

筒型フィルタ(上・下)

筒型フィルタ(下)をはずす。

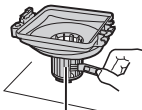
筒型フィルタ(上)

筒型フィルタ(下)



回してはずす

ゴミやほこりを取る。



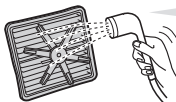
メッシュやさしくこする。

フィルタカバー

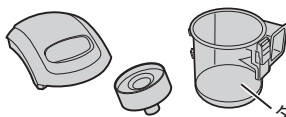
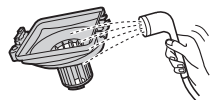
水または薄めた中性洗剤を含ませた布で拭く。



汚れがひどいときは水洗いする



- においや汚れが気になる場合は、衣類用漂白剤10mLに対し、水1Lで薄めた液に約3時間つけた後、水洗いする。



水または薄めた中性洗剤で洗う。

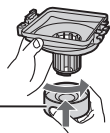
ダストカップ

水洗いした後は (14ページ)

組み立てる

1 筒型フィルタをダストカップに付ける

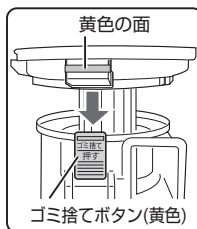
- ①筒型フィルタ(下)を付ける。



筒型フィルタ(下)

位置を合わせて回す

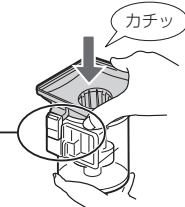
- ②黄色の面とゴミ捨てボタン(黄色)を合わせて、押し込む。



黄色の面

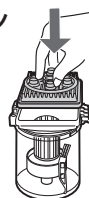
ゴミ捨てボタン(黄色)

カチッ



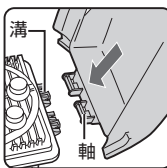
2 HEPA(ヘパ)クリーンフィルタを付ける

- 筒型フィルタ内にゴミや異物がなことを確かめてから付ける。【異音発生の原因】



3 フィルタカバーを付けて閉じる

軸を溝に合わせて押し込む。



カチッ

「カチッ」と音がするまで押し込む。



ご注意

- 各部品を正しく組み立てないと、本体に取り付けできません。
- 筒型フィルタ(下)は取りはずしができます。ゴミ捨てやお手入れ時に紛失しないよう、ご注意ください。

お手入れする



警告



お手入れ時には、本体は必ず
①を押し、バッテリーおよび
ホースを抜く

【感電・けがの原因】

お手入れする

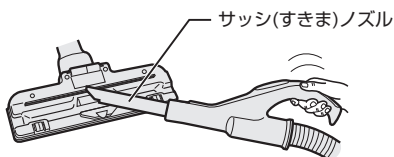
ノズル・本体・
サッシ(すきま)ノズル

ノズル

糸くず・輪ゴム・毛髪・ペットの毛などがからみ付いたとき

各部のごみを、サッシ(すきま)ノズルで吸い取る。

1



- 糸くずなどがからみ付いているときは、セロハンテープなどで、はがし取ってください。

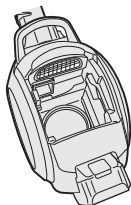
水洗いする。

2

- 水洗い後は水分を拭き取って陰干しし、十分に乾燥させてから取り付けてください。
(ドライヤーなどで乾かさないうでください)
洗剤や漂白剤を使って洗ったり、毛の硬いブラシで洗わないでください。

本体・サッシ(すきま)ノズル

汚れが気になるとき



水または薄めた中性洗剤を
含ませた布で拭き取る。
シンナー・ベンジン類は
使わないでください。
【変質や変色の原因】

サッシ(すきま)ノズルの汚れがひどいとき

水洗いし、しっかり水を切り、
風通しのよい所で十分に乾かす。



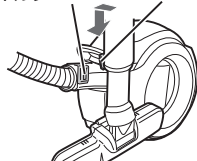
本体は水洗いできません

収納する

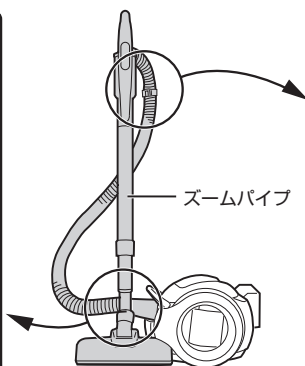
スタンド収納

ズームパイプを縮めて (6 ページ)、フックをホルダーにしっかり差し込みます。

ホルダー フック



ノズルを立てる



ショルダベルトをご使用の場合は、ショルダベルトをホースフックに差し込みできます。



ショルダベルト

ホースフック

ご注意

- ズームパイプを縮めるときは、指をはさまないように、ご注意ください。
- フックをホルダーに差し込むときは、必ずノズルを立ててください。
バッテリーを本体からはずした状態で、ノズルを立てずに寝かせて収納すると、ズームパイプが倒れて、床面を傷付けたり、けがをするおそれがあります
- 収納状態のまま持ち運ばないでください。ホースやズームパイプがはずれて、床面を傷付けたり、けがをするおそれがあります。

こんなときは？

修理のご依頼やお問い合わせの前に、下記内容をお調べください。



こんなとき

お調べください

参照
ページ

運転できない
(動作がおかしい)

途中で止まる

お知らせランプ(橙)が
速く点滅する (8ページ)

吸込力が弱い

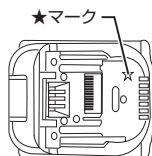
運転音が変化した・
大きくなった

- バッテリ残量がなくなっていますか。充電してください。
- ホースがホース差込口から抜けていませんか。
- 筒型フィルタやHEPA(へパ)クリーンフィルタが目詰まりしていませんか。フィルタを水洗いしてください。
- ダストカップにゴミがいっぱいたまっていませんか。
- ティッシュなどの大きいゴミがダストカップ内部に巻き付いていませんか。
- ホース・ズームパイプ・ノズルなどに、ゴミが詰まっていませんか。詰まったゴミを取り除いてください。

バッテリー保護機能について

(★マーク付きバッテリーを使用する場合)

バッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。本機をご使用中、下記の状態になるとモータが自動停止しますが、これはバッテリーの保護機能によるものであり、故障ではありません。



- 本機が過負荷状態になると、モータが自動停止します。このときは、いったん(切)を押し、本機よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば、再びご使用になれます。
- バッテリーの温度が高温になると、モータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。このときは、バッテリーの使用を中断し、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを冷ますか、または充電してください。
- バッテリーの容量が少なくなると、モータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。このときは、本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。

上記の処置をしてもお掃除中に止まる場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

異音がする

- ダストカップセットを本体に正しく取り付けていますか。
- HEPA(へパ)クリーンフィルタと筒型フィルタの間にゴミや異物が入っていませんか。

お知らせランプ(橙)が
点灯する (8ページ)

- フィルタが汚れています。フィルタのつまみでお手入れしてゴミを捨て、クリーニングブラシでフィルタのゴミやほこりを取り除いてください。

「強モード」で運転中に
吸込力が弱くなる

- 筒型フィルタやHEPA(へパ)クリーンフィルタが目詰まりしていませんか。フィルタを水洗いしてください。安全のため保護回路がはたらき、吸込力を「強」から自動的に低下させる場合があります。

本体は運転時40℃程度の温度になりますが、異常ではありません。

熱い

本体が熱い

- 筒型フィルタやHEPA(へパ)クリーンフィルタが目詰まりしていませんか。

運転中の本体のトラブル

こんなとき	お調べください	参照 ページ
ダストカップセット 本体に取り付け できない	<ul style="list-style-type: none"> ●ダストカップセット収納部の底にゴミがありませんか。 ●クリーニングブラシを正しく収納していますか。 ●ダストカップセットの各部品を正しく組み立てていますか。 	13 6 15
ダストカップセットを 組み立てられない	<ul style="list-style-type: none"> ●ダストカップの底にゴミがたまっていますか。 ●筒型フィルタにゴミが巻き付いていませんか。 ●ダストカップセットの各部品を正しく組み立てていますか。 	13 15 15
におう 排気がおう	<ul style="list-style-type: none"> ●ダストカップにゴミがいっぱいたまっていますか。 (ゴミの種類によっては、におう場合があります) ●筒型フィルタやHEPA(ヘパ)クリーンフィルタを水洗いした後、 十分に乾かしていますか。 	12, 13 14, 15
その他 サッシ(すきま)ノズルに 穴があいている	<ul style="list-style-type: none"> ●密閉によるモータ過熱を防ぐための穴です。ふさがないでください。 サッシ(すきま)ノズルを付けると吸込力が弱くなりますが、故障では ありません。 	—
HEPA(ヘパ)クリーン フィルタに白く浮いて 見える部分がある	<ul style="list-style-type: none"> ●白いフィルタ材が浮いて見えることがありますが、品質上は問題 ありません。 	—

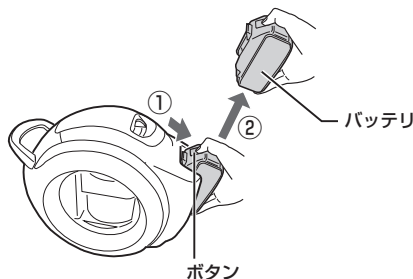
別販売品のご紹介

- バッテリーBL1830 (容量3.0Ah) • 充電器DC18RC
部品番号 A-47896
- バッテリーBL1840 (容量4.0Ah)
部品番号 A-56596

使いかた

バッテリーの取り付け・取りはずしかた

- バッテリーを本機から取りはずすときは、
 - ① バッテリー正面のボタンを下げながら
 - ② スライドさせると取りはずせます。
- 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。
この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。
赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



⚠ 注意

バッテリーを取り付ける際は、本体とバッテリーの間で指をはさまないようにしてください。

- けがの原因になります。

バッテリーについて

- お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。
(スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください)
ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

バッテリーを長持ちさせるには

- 本機の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲でおこなってください。
- 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- 長期間(6か月以上)ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから、保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。
- お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



⚠ 警告

バッテリーは確実に本機に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。
赤色部が完全に見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

- 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

保守・点検について

警告

点検・整備・保管の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

- バッテリーを本機に差し込んだままおこなうと、事故の原因になります。

警告

本機にバッテリーを差し込む際は、強/標準スイッチを押さないでください。

- 強/標準スイッチを押したままバッテリーを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

A series of 25 horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

仕様

バッテリー (別販売品)	18Vリチウムイオンバッテリー	
	BL1830 (容量3.0Ah)	BL1840 (容量4.0Ah)
連続使用時間	強 : 約12分	強 : 約16分
	標準 : 約30分	標準 : 約40分
集じん容積	0.25L	
本体寸法	長さ352mm×幅189mm×高さ252mm ※BL1830取付時	
質量	4.2kg (ノズル・ズームパイプ・ホース・バッテリー) ※BL1830取付時	

(●本機は日本国内向け仕様です。海外ではご使用できない場合があります。)

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)